



【農林水産部】

第43回 沖縄県

さとうきび競作会表彰式

「さとうきび生産農家の意欲の高揚による生産振興」

4月25日、沖縄産業支援センター大ホールにおいて、第43回沖縄県さとうきび競作会の表彰式が開催されました。

本競作会は、さとうきびの生産技術及び経営改善の面で創意工夫し、高単収・高品質な生産を上げたさとうきび農家や農業法人を表彰することで、生産意欲を喚起することも糖業の発展につなげることを目的として、沖縄県糖業振興協会が主催して毎年開催されているものです。

農家の部では、沖縄本島北部、中部、南部、宮古、八重山の各地区での予備審査を経て地区代表として選出された農家について全州審査を



沖縄県さとうきび競作会の受賞者の皆さま

No.6

行い、その結果を基に順位が決定されています。審査の結果、10アール当たりの収量が最も多い神谷忠正氏（八重瀬町）が1位の農林水産大臣賞の栄誉に輝きました。

受賞者

【農家の部】

○沖縄県第一位（農林水産大臣賞）

神谷 忠正氏（南部地区代表 八重瀬町）

○沖縄県第二位（農林水産省政策統括官賞）

吉里 徹氏（中部地区代表 うるま市）

【多量生産の部】

【農家の部】

○沖縄県第一位

（独）農畜産業振興機構理事長賞

松原 永政氏（与那国町）

【生産法人の部】

○沖縄県第一位

（独）農畜産業振興機構理事長賞

農業生産法人有会社サザンファーム

代表者 西大舩 高均

農林水産部生産振興課

☎098-866-1653



【経済産業部】

「RESAS活用セミナー」を開催！

地方創生の取組を推進していくためには、客観的なデータに基づく施策の企画・提案能力を持つ専門人材の育成が必要不可欠なことから、経済産業部では、6月8日（土）に沖縄県立博物館・美術館で「RESAS活用セミナー」を開催し、教育関係者、学生、自治体職員など約50名の参加がありました。

基調講演では、国立大学法人金沢大学 国際基幹教育院 専任講師・内閣府 RESAS 専門委員の松浦義昭氏が「地域経済分析システム（RESAS）で読み解く沖縄県の現在と未来」をテーマに、RESASの活用方法を紹介しながら、どの産業が稼いでいるかなどの産業構造や、賃金の伸び率などの現状把握、課題の設定・分析・解決策立案までのプロセスについて講演いただきました。

また、参加者自身が現状分析を行うためのロジックツリーを使って簡単な現状分析をするなど、活用方法を実践的に学びました。

セミナー後半には、当部より RESAS 普及活動に関する情報提供を行うとともに、「沖縄



会場の様子



RESASイメージ図

RESAS データ分析フォーラム（今年9月14日（土）開催予定）への参加を呼び掛けました。

当部では県内における RESAS の普及を目的として出前講座を無料で実施しています。講師派遣のご希望がございましたらお気軽にご相談下さい。

経済産業部企画振興課

☎098-866-1727

E-mail: resas-okinawa@meti.go.jp

○地域経済分析システム

（RESAS：リソース）とは

Regional Economy (and) Society Analyzing System の略で、人口動態や産業構造、観光等の地域経済に関わる官民のビッグデータを可視化して提供するシステム。

No.7